

伊勢地区

医療機関で受診をご希望の方へ

子宮頸がん検診のご案内

◆対 象 者 大紀町に住所を有し、令和7年4月1日時点で20歳以上の女性
ただし、今年度大紀町が実施する集団がん検診で子宮頸がん検診を受ける方は除く

◆検診期間 令和7年6月2日（月）～令和7年12月末（年末の休診日を除く）

◆持 ち 物 受診券(ハガキ)、
マイナ保険証、資格確認書、健康保険証(有効期限内)のいずれか
検診料金1,400円

◆留 意 点

- 検診の際は、必ず受診券(ハガキ)を受付に提出してください。
- 受診券を紛失した場合は、健康福祉課までご連絡ください。
- 診療時間等変更になる場合もありますので、事前に医療機関にご確認ください。
- 予約が必要な医療機関では必ず予約し、ご都合が悪くなった場合はキャンセルをしてください。
- 予約の際は、「大紀町」「受診券利用の検診」であることを伝えてください。
- 問診票は医療機関にあります。
- 大紀町が発行した受診券を利用して検診を受けない場合は、健康福祉課までご連絡ください。
- 子宮頸がん検診の結果が『判定不能』となる場合があります。再検診を希望される際は、今年度内(令和8年3月31日まで)なら同一医療機関にて1回限り無料で受けられます。
- 発熱（37.5℃以上）や咳など、感染症の疑いがある方は検診を延期してください。
- 子宮頸がん検診は、集団検診または個別医療機関での検診のいずれか1つを受診できます。
重複受診した場合は、全額自己負担となりますのでご注意ください。

～松阪地区医療機関での検診をご希望の方へ～

伊勢地区と松阪地区の医療機関では、検診の時期が異なります。
松阪地区での検診は、準備が出来次第ご案内しますので、それまでお待ちください。
※受診券は伊勢地区・松阪地区とも共通ですので、受診する日まで保管してください。

- 松阪地区ご案内送付の目安 令和7年7月末頃
- 松阪地区の検診開始時期 令和7年8月から

検診期間：令和7年6月2日（月）～令和7年12月末（年末の休診日を除く）

〔五十音順〕

医 療 機 関 名	住 所	電話番号	予 約	診療時間	休診日
伊 勢 ひ か り 病 院	伊勢市御薊町高向 810-1	0596-22-1155	要予約	火・木・金曜の 9:00～12:00	月曜日 水曜日 土曜日(PM) 日曜日 祝日
伊勢志摩レディースクリニック	伊勢市黒瀬町 671-20	0596-21-0800	不 要 ※火曜午前と土曜 午後は要予約	9:00～12:00 平日 15:00～18:00 土曜 13:00～16:00	木曜日 日曜日 祝日
小 原 産 婦 人 科	伊勢市宮後 1 丁目 5-3	0596-28-8111	不要	月・水・金曜の 9:00～12:00 15:00～17:00 ※診察受付は診察終 了時間の 10 分前まで ※土曜日は AM のみ 不定休あり ※診察日はホームペ ージでご確認ください	火曜日 木曜日 土曜不定期 日曜日 祝日
菊 川 産 婦 人 科	伊勢市一之木 5 丁目 15-5	0596-23-1515	一部予約可 予約なしでも可	9:00～12:30 15:00～18:00 土曜 14:30～17:00	木曜日(PM) 日曜日 祝日
玉 石 産 婦 人 科	伊勢市御薊町長屋 2049	0596-22-5656	一部予約可 予約なしでも可	9:00～12:30 平日 15:30～18:00 土曜 15:00～18:00	木曜日(PM) 第 4 木曜 日曜日 祝日
寺 田 産 婦 人 科	伊勢市小木町 185-1	0596-35-0311	予約優先 予約なしでも可 土曜は完全予約制	9:00～12:00 15:00～18:00 土曜 14:00～17:00 ※土曜は完全予約	木曜日(PM) 日曜日 祝日
やまぐちレディースクリニック	伊勢市小俣町本町 3321	0596-21-3001	要予約 ※電話又はインタ ーネットで予約	月・火・金・土曜の 9:00～11:45 月・火・金曜の 15:00～17:30	水曜日 木曜日 土曜日(PM) 日曜日 祝日

＊ ＊ ＊ ＊ ＊裏面もご覧ください＊ ＊ ＊ ＊ ＊

問合せ先:大紀町 健康福祉課 ☎0598-86-2216

子宮頸がん検診を受診される方へ

＊＊受診前のお願い＊＊

以下の症状がある方、その他体調がすぐれない方は、感染症対策のため検診をお控えください。

- ・体温が37.5℃以上ある場合
- ・せき・のどの痛みなどの症状がある場合
- ・強いだるさや息苦しさがある場合

子宮頸がんの現状

子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんの中でも比較的多く、近年増加傾向にあります。特に20歳から30歳代の若年層で急激に増えています。

検診の有効性

がん検診の目的は、早期発見により、そのがんで死亡する可能性を減少させることです。

しかし、どのように優れた検査でも100%の精度ではありません。がんは発生した時点から一定の大きさになるまでは検査では見つかりにくいがんがあります。また、本来生命に影響しない、微小でその後も進行がんにはならないがんが見つかる場合もあります。反対に、がんでないのに「要精密検査」と判定され、精密検査を行ってもがんが見つからずに結果的に不必要な精密検査や治療を受けなければならない場合も多くあります。

子宮頸がん検診受診前の注意事項

- ①生理中は受診できません。（細胞の採取が困難なため、お断りさせていただいています）
- ②子宮がん等で医療機関にて治療中及び経過観察中の方はかかりつけ医療機関にご相談ください。
- ③性交渉の経験のない方は、子宮頸がん発生の大きな原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染機会がありませんので、子宮頸がん検診の必要性は低いこと、痛みなどで細胞診ができない場合があることをご了承いただき受診してください。
- ④子宮の手術をしたことがある方は、切除部位等により膣部と外陰部のみの検診になる可能性があります。

子宮頸がん検診受診の際の注意事項

- ①閉経後の方は子宮頸部の細胞量が少なくなっており、必要量の細胞が採取できない可能性があり、結果が「判定不能」となる場合があります。
- ②検診前日の膣内洗浄は細胞が洗い流されることがありますので避けてください。（入浴は差し支えありません）
- ③検診前日の性生活は避けてください。
- ④検診当日、体調の悪い方は検診を控えてください。

⑤検診前に排尿を済ませてください。

⑥検診当日は、着脱しやすい服で受診してください。

⑦検査は専用のブラシ等を使用しますので、出血や痛みがあることがあります。通常は自然に止血しますが、出血が続いたり、出血量が増えたりするようであれば医療機関（産婦人科）を受診してください。また緊張すると余計に痛みを感じやすくなりますので、なるべくリラックスして受けましょう。

検診結果について

検診結果は、1. 精密検査不要、2. 要精密検査（子宮頸がん疑い）、3. 要精密検査（子宮頸がん以外）、4. 判定不能のいずれかの区分で報告されます。「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けてください。検診の結果が「精密検査不要」であったとしても、原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）にすでに感染していた場合や、検診後に新たに感染した場合、今後、子宮頸部の細胞に異常が生じ、将来的に子宮頸がんが引き起こされる可能性はゼロではありません。また、子宮頸がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見・治療のためにも、**2年に1回は受診してください**。また、不正出血等気になる症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関（産婦人科）を受診してください。

精密検査の方法

コルポスコープ（拡大鏡のような器機）で、子宮頸部の粘膜表面を拡大して細かい部分を観察します。異常な部位が見つければ、組織診によって組織を一部採取して悪性かどうかを判断します。また組織診（子宮頸部や膣部の細胞を専用のブラシで等で採取し、顕微鏡で観察）の結果によってはHPV検査によって子宮頸がんの原因となるHPVの感染の有無を判定します。

精密検査が受けられる医療機関

精密検査を受けられる医療機関については、三重県ホームページをご参照ください。なお、受診可能かどうかを事前に病院へお問い合わせのうえ、受診してください。

三重県ホームページ：『三重県がん検診精密検査医療機関登録制度について』
<https://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/000118956.htm>



*** 検診は各医療機関と自治体が連携して行っています。検診結果や精密検査の結果については、厚生労働省等の指針・ガイドラインに基づき、精度管理等に必要な情報を関係機関等と共有します。**